

# OAK

kashinoki  
PressNo.51



## 第926回7月第一

地区ガバナー  
スローガン



「未来へ～  
新しい仲間を増やして  
We Serve」



### Ibaraki Oak Lions Club

335-B 地区 6R1Z 茨木オーライオンズクラブ

## この一年を顧みて

会長・G A Tファシリテーター 脇澤 元

昨年度より世界中を災害レベルで襲っている新型コロナ感染症により、今年度はほぼ継続事業が行うことが出来ず、献血奉仕活動を計3回行えた事だけが救いだったように思います。

常に今行える事業は何か？と、自問し続けていましたが、何



も行えず、メンバーの皆様を引っ張って行くことが出来なくて、大変申し訳ない気持ちで一杯です。

ただ、皆様のご協力により、コロナ禍の中、3名の新会員を迎え入れる事が出来た事は、とても嬉しく思っています。人は宝であり力です。10名の増強は叶いませんでしたが、来年度も引き続き、仲間を増やせていけるよう努力していきます。

また、来年度はCN40周年事業・式典の実行委員長を拝命しております。次期会長L原田

を始め、実行委員会メンバーと力を併せ、精一杯頑張りたいと思います。来年度も困難が続くと思いますが、引き続きメンバーの皆様のご協力を心よりお願いいたします。

## 1年を振り返って

幹事 大脇 久徳

この一年を振り返ってみるとほとんどがコロナ禍で活動ができず、幹事として何ができたのだろうというのが実感です。

ただ緊急事態宣言が発動されメンバー皆様と活動できたのはわずかですが、皆様の温かいお気持ちで見守っていただけたお陰でこの職を遂行することが出来たと思っております。

会長テーマ「未来へ～新しい仲間を増やしてWe Serve」のもと、コロナ禍のなかで3名の新入会員を迎えることが出来ました。

目標には届きませんでしたがクラブを盛り上げてくれる新しい仲間が増えたことは感謝であります。

また、どんな状況になろうとも献血奉仕だけは継続が必要でありますので活動を遂行していただけました委員長及びメンバーの皆様には感謝申し上げます。

この一年幹事として至らぬところが多々ありましたが会長をはじめとしてクラブメンバーの皆様、そして事務局員の宮城さんには心から感謝申し上げます。

有難うございました。



## 「この1年を顧みて」

前会長・LCIFコーディネーター 杉本 憲一

この1年間は、前会長職と並行してLCIFコーディネーターを担当しました。

今年度の「LCIF キャンペーン100」は3年間の最終年であったので、皆様快く100ドルの寄付をしていただきました。皆様ご協力いただきまして有難うございました。今年度の寄付指定分野は「災害」を選択しました。昨今続いている災害にたいして、この皆様の寄付金が有効に使われるよう願っております。

また今年度は前会長として少しゆっくりさせていただきました。有難うございました。



## この一年を顧みて

第二副会長 牧田 智聡

今年度は、第二副会長という大役を務めさせていただきました。今年度は、コロナ禍で厳しい中での活動のスタートでした。第二副会長兼奉仕委員長として3委員会を担当する事となり、運営を学ぶ良い機会と思っておりました。しかし、コロナウイルス感染拡大防止の為、緊急事態宣言などが発令され一部事業活動が出来ず残念です。その中でも、赤十字との合同献血奉仕活動だけは行うことが出来ました。また、当初の計画以外に協澤会長の呼びかけで、合同献血活動の回数を増やした事により今まで以上に寄与できたかと思っております。この様な難局でライオンズ活動を今後どのように運営・活動していくのか、体験を通して方法を考案していかなければならないと痛切に感じました。この一年間、ご協力いただき有難うございました。



## 「この一年を顧みて」

献血奉仕副委員長 辻田 宗一

今期は、新コロナウイルスの感染拡大により、献血奉仕がクラブで実施できる唯一の奉仕活動となりました。

赤十字血液センターにおかれましても、企業、大学等での



献血が中止となる中、7月早々に協澤会長のリーダーシップのもと、赤十字血液センター北大阪事業所と打ち合わせを行い、9月20日(日)、21日(月・祝)にイオンモール茨木に始まり、12月13日(日)に4クラブ合同でアルプラザ茨木、3月6日(土)にイオンモール茨木、5月1日(土)にアルプラザ茨木と5回献血奉仕活動を実施いたしました。

メンバー各位のご協力に感謝いたします。

コロナ禍の中、献血在庫量が減少しており、ライオンズクラブの重要事業として今後とも献血奉仕活動が継続できるようメンバー各位のご理解とご協力をお願いいたします。

## かしの木によせて

会則・付則委員長 西田 英雄

会則・付則委員会を担当した1年をふりかえる。

2020年1月より、新型コロナウイルスが発生し感染状況が随時発表され、コロナ拡散防止対策が長い期間に渡って実施されました。

緊急事態宣言の発出が3度に渡って実施されたにも関わらずコロナ感染は減少されずにコロナ禍の中クラブ例会もしばし中止されることもあり、会員相互の親睦も奉仕活動も十分に展開も出来なかった。

会則・付則に関係する事項の改正・修正に係わることはありませんでした。

会員数に移動があり、新会員3名を迎えて正会員が33名、



優待会員8名、賛助会員8名家族会員2名、残念ながら退会者1名、総会員50名(2021年4月)となりました。

ライオンズクラブの会則に合わせクラブ会員がクラブ活動に支障が無いよう主たる奉仕活動が順調に進むことが出来るよう、コロナ感染が終息をすることを願うところです。

## この一年を顧みて

指導力育成委員長 今井 保雄

一年間ご協力を賜りありがとうございました。

コロナ騒ぎに翻弄され、クラブとしても様々な事業活動が中止になった残念な年でございました。指導力育成委員会もほとんど活動できず、例会の出欠カウントをしていただけて終わってしまったように思います。

そんな一年でございましたが、いつの日か振り返りました時に前例のない時代として「こんな時もあったな」と笑顔で語れるようになれば嬉しいです。

そして、コロナ終息後は以前にもまして元気一杯のオークライオンズに戻り、例会出席率100%を目指したいと思えます。

尚、例会出席率向上のためリモート参加を検討してみるの如何でしょうか。

又、協澤会長には思いう存分手腕を発揮して頂く場が少なく不完全燃焼な結果になりましたが、かえって余分なお気遣いやご苦勞をお掛けした事と存じます。ご心痛を労い、深く感謝を申し上げます。



## 次期は 40 周年

ライオンテーマー

社会奉仕・YCE 委員会 副委員長 西川 明

例会 12 回と半分、YCE 派遣受け入れ無し、テーマーとしてもテーマーの仕事をきっちりと各会議の設営などをしてい



くと年当初は思っていたのですが、なんとなく崩しに適当に約半分こなすということになってしまいました。そして茨木フェスティバルやビッグバンド JAZZ など早々に中止になり、することもなく一年が過ぎようとしています。

次年度はチャーターナイト 40 周年の年が始まります。このような状況の中ですが、その状況でも新しい発想でできることを模索しながら、オークらしい活動をしていけたらと思います。

コロナが収まっていくことを念じ、元にもどるということではなく、また新しい時代が変わっていくという感覚に戸惑いながらも昔はよかったなあと反発するのではなく受け入れる態勢を整えたいなあと考える今日この頃です。

会長はじめ執行部の皆さんは判断の難しい一年のかじ取り、したいことができない我慢、いろんなジレンマがあったと思います。お疲れさまでした。

## 会長就任ゴルフコンペ



# 会長就任ゴルフコンペ



# 献血奉仕活動





# 7月新年度例会



# 10月度ワイガヤ例会



# 11 月 度 例 会 万 博 記 念 公 園 ー バ ー ベ キ ュ ー







# 3月度例会 落語例会・入会式



# 6月度 最終例会





発行：茨木オーライオンズクラブ  
編集：2020-2021 MC委員会  
〒567-0882 大阪府茨木市元町5-23  
Tel.072-626-1431 Fax.072-625-7821  
info@ibaraki-oak-lc.com

茨木オーライオンズクラブ 

<http://www.ibaraki-oak-lc.com>